

Atræ

目次

■ 招集ご通知	P 4
■ 事業報告	P 5
■ 計算書類	P17
■ 監査報告	P19

第13期 定時株主総会 招集ご通知

日時

平成28年12月22日（木曜日）午前10時
（受付開始は午前9時30分を予定しております。）

場所

東京都港区六本木六丁目10番3号
グランド ハイアット 東京 2階
「レジデンスアニス」
（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）

株式会社アトラエ

（証券コード 6194）

世界中の人々を魅了する会社を創る

全ての社員が誇りを持てる組織と事業の創造にこだわり、
関わる人々がファンとして応援したくなるような魅力ある会社であり続けます。
そして日本を代表するグローバルカンパニーとして、世界中の人々から必要とされる存在を目指します。

About Atrae

－ 社名の由来 －

【atrae】とは

スペイン語で「魅了する」「引きつける」の意。
原型はatraer（アトラエール）。動詞 atraer（アトラエール）の第三人称活用形。

株主のみなさまへ

日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成28年6月に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。これもひとえに、株主のみなさまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。



代表取締役

新居 佳英

当社は、「世界中の人々を魅了する会社を創る」をビジョンに掲げ、HR×TechをテーマにHR領域に変革を起こし、従来の人材サービスでは提供し得なかった本質的な価値を提供するべく事業活動を行ってまいりました。

第13期（平成27年10月～平成28年9月）については、成功報酬型求人メディア「Green」における求人企業と求職者のマッチング率向上のためのコンテンツの拡充、ビッグデータ解析によるレコメンド精度の向上など様々な施策を投じ、前期比で大きく増収増益となり、売上高は1,312,624千円、営業利益は390,029千円となりました。

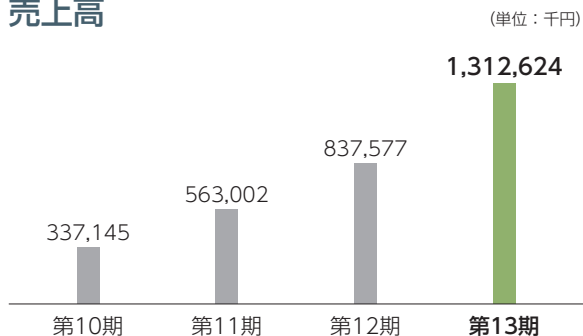
また、新規事業についても「TalentBase」の人工知能を活用した完全審査制AIビジネスマッチングアプリ「yenta」のリリース、組織改善プラットフォーム「wevox」の企画、開発など「Green」に続く更なる収益基盤の確立に向け、一步一步着実に歩んでいく所存でございます。

今年度につきましても、当社の創業からの想いである「世界中の人々を魅了する会社を創る」を胸に既存事業の成長と新規事業の創造に取り組み、企業価値の向上に精進したいと考えております。

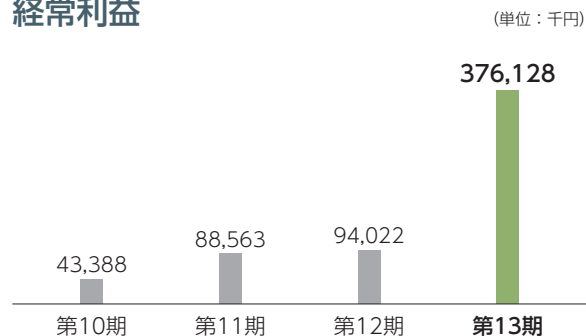
株主のみなさまには今後もあたたかいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト

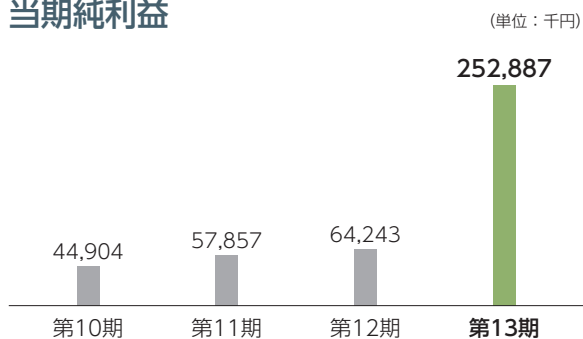
売上高



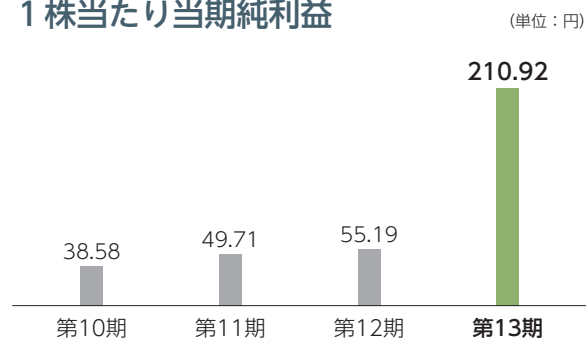
経常利益



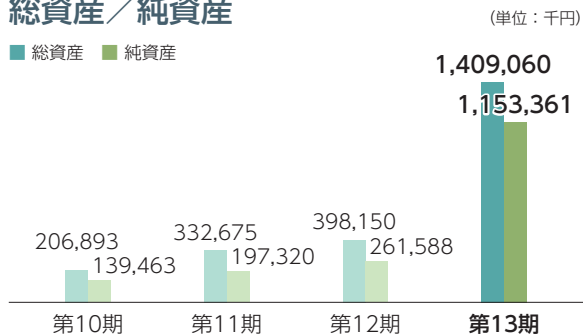
当期純利益



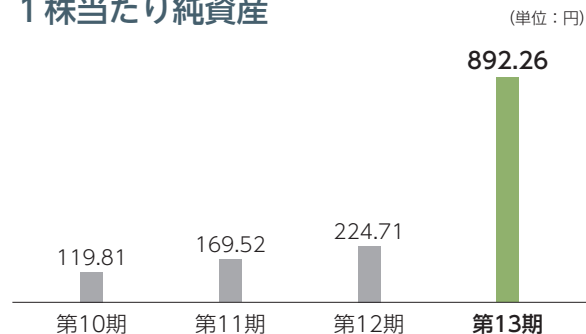
1株当たり当期純利益



総資産／純資産



1株当たり純資産



証券コード 6194
平成28年11月30日

株主のみなさま

東京都港区三田一丁目10番4号
株式会社アトラエ
代表取締役 新 居 佳 英

第13期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第13期定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成28年12月22日（木曜日）午前10時 （午前9時30分受付開始）

2. 場 所 東京都港区六本木六丁目10番3号
ブランドハイアット 東京 2階 「レジデンスアニス」
（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）

3. 目的事項

報告事項 第13期（自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日）事業報告及び計算書類報告の件

以 上

~~~~~  
◎本総会における会議の目的事項は、上記のとおり報告事項のみとなりますので、あらかじめご了承くださいませよう願ひ申し上げます。また、当日ご出席の際は、お手数ながら本招集ご通知をご持参のうえ、同封の出席票を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎本招集通知ご通知に際して提供すべき書類のうち、「新株予約権等の状況」、「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」、並びに「計算書類」の株主資本等変動計算書及び個別注記表につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、インターネット上の当社ホームページ（<http://atrae.co.jp>）に掲載しておりますので、本招集ご通知には記載しておりません。したがって、本招集ご通知の添付書類は、監査報告を作成するに際し、監査役が監査した事業報告、監査役及び会計監査人が監査した計算書類の一部であります。

◎事業報告及び計算書類に修正が生じた場合は、修正後の事項をインターネット上の当社ホームページ（<http://atrae.co.jp>）に掲載させていただきます。

(提供書面)

## 事業報告

(自 平成27年10月1日)  
(至 平成28年9月30日)

### 1. 会社の現況

#### (1) 当事業年度の事業の状況

##### ① 事業の経過及び成果

当事業年度における我が国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和により緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、国内では平成28年4月の熊本地震に加え、同年6月の英国の欧州連合（EU）離脱決定や、中国をはじめとした新興国の景気減速懸念等の影響から、国内経済の先行きについては依然として不安定な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社が事業展開を行っているHR領域におきましては、労働需給が改善されており、有効求人倍率は着実に上昇し、失業率は緩やかな低下傾向を示しております。また求人企業の多くが属するインターネット業界は、人工知能やIoTに関連した様々なサービスが生まれており、ITエンジニアやWebデザイナーといった人材の需要は増加傾向にあります。

上記事業環境の中で、当社成功報酬型求人メディアGreenにおきましては、従来より引き続き求人企業と求職者のマッチング効率向上のためのコンテンツの拡充、ビッグデータ解析によるレコメンド精度の向上をはじめ、登録者数の増加施策としてWebマーケティングの強化、新規登録求人企業獲得強化のための施策など、様々な取り組みを実施してまいりました。

これらの施策の結果、当事業年度の新規登録求人企業は558社（前年同期比47.2%増）、入社人数は1,416人（前年同期比42.0%増）となりました。

一方、Greenに次ぐ新規事業として、タレントマイニングサービス「TalentBase」、ビジネスパーソンのマッチングアプリ「yenta」及び組織改善プラットフォーム「wevox」を立ち上げております。これらの新規事業に係る当事業年度における業績への影響は僅少ですが、今後はユーザー獲得、サービスの品質向上のための様々な施策の導入により、さらなる収益拡大を図る方針です。

以上の結果、当事業年度の売上高は1,312,624千円（前年同期比56.7%増）、営業利益は390,029千円（前年同期比313.9%増）、経常利益は376,128千円（前年同期比300.0%増）、当期純利益は252,887千円（前年同期比293.6%増）となりました。なお、当事業年度におい

て、本社設備の増床及び建替工事により、将来使用見込みのない固定資産が明らかになったため、減損損失8,375千円を計上しております。

売上高の内訳は、Greenによる売上高が1,309,474千円（前年同期比57.0%増）、新規事業による売上高が3,100千円（前年同期比37.8%増）、その他の売上高が50千円（前年同期比96.7%減）であります。

なお、当社は、HR事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っていません。

- ② 設備投資の状況  
該当事項はありません。
- ③ 資金調達の状況  
東京証券取引所マザーズ上場により、総額638,884千円の資金調達を行いました。
- ④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況  
該当事項はありません。
- ⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況  
該当事項はありません。
- ⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況  
該当事項はありません。
- ⑦ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況  
該当事項はありません。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

| 区 分                        | 第 10 期<br>(平成25年9月期) | 第 11 期<br>(平成26年9月期) | 第 12 期<br>(平成27年9月期) | 第 13 期<br>(当事業年度)<br>(平成28年9月期) |
|----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------------------|
| 売 上 高 (千円)                 | 337,145              | 563,002              | 837,577              | 1,312,624                       |
| 経 常 利 益 (千円)               | 43,388               | 88,563               | 94,022               | 376,128                         |
| 当 期 純 利 益 (千円)             | 44,904               | 57,857               | 64,243               | 252,887                         |
| 1 株 当 た り<br>当 期 純 利 益 (円) | 38.58                | 49.71                | 55.19                | 210.92                          |
| 総 資 産 (千円)                 | 206,893              | 332,675              | 398,150              | 1,409,060                       |
| 純 資 産 (千円)                 | 139,463              | 197,320              | 261,588              | 1,153,361                       |
| 1 株 当 たり 純 資 産 (円)         | 119.81               | 169.52               | 224.71               | 892.26                          |

(注) 当社は、平成27年7月3日付で普通株式1株につき3,000株の株式分割を行っております。第10期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産を算定しております。

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

該当事項はありません。

## (4) 対処すべき課題

### ①サービスの知名度向上

当社は、テレビや新聞、雑誌、ラジオ等のマスメディア向けの広告は実施しておらず、これまで培ってきたWebマーケティングのノウハウを活用することにより、Green及び新規事業に係る登録者を獲得してまいりました。その結果としてIT・Web業界においては相応の知名度を獲得できたと考えております。

一方でGreenやTalentBaseのターゲット市場の一つとして考えている国内人材紹介業界の市場規模は1,850億円（出典：株式会社矢野経済研究所「人材ビジネス市場に関する調査結果2015」）と言われております。今後も上向きの景気動向に後押しされ、市場はますます拡大していくものと推測されることから、IT・Web業界を越えた幅広い業界における知名度の向上、競合企業との差別化を明確にしたブランドの確立が重要であると認識しております。

そのためにも、これまで構築してきたWebマーケティングと並行し、費用対効果を慎重に考慮した上で、マスメディアを活用した広告宣伝及びプロモーション活動も検討してまいります。

なお、平成28年9月に事業開始を決定した組織改善プラットフォーム「wevox」については、立上げ間もないことを考慮し、当面はGreen既存ユーザーへの宣伝を中心にサービスの知名度向上を検討してまいります。

#### ②新規事業における収益拡大

当社は、主力サービスであるGreenを中心に堅調に成長している一方で、Greenの収益力への依存度が高い状態にあります。長期的に成長し続ける組織であるためにも、今後複数の事業を収益化させ、発展・拡大させていくことが極めて重要だと考えております。

Greenに次ぐ新規事業として、タレントマイニングサービス「TalentBase」、ビジネスパーソンのマッチングアプリ「yenta」及び組織改善プラットフォーム「wevox」を立上げ、収益拡大を図ってまいります。

また、その他構想・検討している新規事業に関しましても、未来の収益の柱へと育てるべく尽力してまいります。

#### ③ビッグデータの有効活用

当社は、創業当初から転職・採用等のHR領域に特化したノウハウや経験を有しており、かつ、それらを属人的なものではなく競争優位性の高い独自のデータとして蓄積してまいりました。このいわゆるビッグデータをさらに有効活用し、優位にかつスピーディに事業を展開していくことが重要であると考えております。

また、継続的・安定的にデータを蓄積しつつも、今まで以上にデータの解析精度を向上させ、データを活用した新規事業の創造へと取り組んでまいります。

#### ④組織体制の強化

当社は、知的産業社会で価値を生み出す最大のリソースは「人」であり、その集合体としての「組織」であると考えています。そのためにも能力と意欲を兼ね揃え、かつ当社の持つ価値観や目指す方向性に強く共感する人材のみを採用することを徹底しております。またそのような優秀な人材が長期に渡ってやりがいを感じて働くことができるよう、旧態依然とした出世や役職といった考え方を撤廃し、全社員に権利と責任を付与したフラットなプロジェクト制での組織運営を行っております。

この取り組みの徹底のため、全社員にプロとしての意識・自発的な行動・成果を求める一方、情報共有の徹底やビジネスで成果を出す上で不必要な管理やルールの排除を行っております。その結果、当社は極めて高い定着率を誇り、新卒や若い社員を育成するノウハウを保持することに

成功しております。

しかしながら、今後複数の事業のスピーディな拡大・成長を実現する上で、これまでと同様の水準を保ちながら、人材を確保していくことが当社の発展における課題であると認識しております。

そのため、ソーシャルメディアを活用したダイレクトリクルーティングの活用や従業員からの紹介制度の強化等、多様な採用手法を用いて人材の獲得に努めるとともに、優秀な社員が定着し続けるような創意工夫をし続けてまいります。

⑤情報管理体制の強化

当社の運営する事業は、膨大な個人情報を保持しております。そのため、個人情報保護に関しては重要課題と認識しており、個人情報に関する社内規程の厳格な運用、定期的な社内教育の実施やセキュリティシステムの整備を行っております。また、一般財団法人日本情報経済社会推進協会が運営するプライバシーマーク制度の認証を取得しており、引き続き、情報管理体制の強化、徹底を図ってまいります。

⑥グローバル市場への進出

当社の継続的な事業拡大のためには、これまで培ってきたノウハウ、ナレッジを活用し、より大きな市場である欧米、アジアをはじめとする今後成長が期待される地域を中心とした海外に向けたサービス提供を推進することが重要だと認識しております。それに伴い平成28年より段階的ながらも、社内公用語を英語に切り替え、優秀な外国人を採用し、海外進出を意識した経営を行ってまいります。またこれらと同時に、市場調査も継続的に行っていく中で、現地法人設立や現地有力企業とのパートナーシップの構築等の検討も進めてまいります。

(5) 主要な事業内容（平成28年9月30日現在）

| 事業区分 | 事業内容                                                                                                                                                          |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| HR事業 | ・成功報酬型求人メディア「Green」の企画・運営<br>・タレントマイニングサービス「TalentBase」の企画・運営<br>・完全審査制ビジネスマッチングアプリ「yenta」の企画・運営<br>・組織改善プラットフォーム「wevox」の企画・運営<br>平成28年9月に事業開始を決議、同年10月よりリリース |

(6) **主要な事業所**（平成28年9月30日現在）

|   |   |       |
|---|---|-------|
| 本 | 社 | 東京都港区 |
|---|---|-------|

(7) **使用人の状況**（平成28年9月30日現在）

| 事業区分   | 使用人数     | 前事業年度末比増減 |
|--------|----------|-----------|
| H R 事業 | 33 (3) 名 | 8名増 (2名増) |

- (注) 1. 使用人数は就業人員であり、臨時雇用者数（パートタイマーを含み、派遣社員を除く）は、（）内に年間の平均人員を外数で記載しております。
2. 使用人数が前事業年度末より8名増加しておりますが、その主な理由は事業の拡大に伴う採用の増加によるものであります。

(8) **主要な借入先の状況**（平成28年9月30日現在）

該当事項はありません。

(9) **その他会社の現況に関する重要な事項**

株式会社東京証券取引所よりご承認いただき、平成28年6月15日付で、当社株式は東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。

## 2. 株式の状況（平成28年9月30日現在）

(1) 発行可能株式総数 2,400,000株

(2) 発行済株式の総数 1,292,600株

(注) 公募増資により95,000株、第三者割当により33,600株をそれぞれ発行し、合計128,600株増加しております。

(3) 株主数 614名

(4) 大株主

| 株 主 名                              | 持 株 数     | 持 株 比 率 |
|------------------------------------|-----------|---------|
| 株 式 会 社 ラ ウ レ ア                    | 380,000 株 | 29.39%  |
| 鎌 田 和 彦                            | 234,500   | 18.14   |
| 新 居 佳 英                            | 185,000   | 14.31   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）            | 66,700    | 5.16    |
| 菊 川 暁                              | 51,600    | 3.99    |
| DAIWA CM SINGAPORE LTD (TRUST A/C) | 44,900    | 3.47    |
| 羽 根 正 哲                            | 30,000    | 2.32    |
| 野 村 信 託 銀 行 株 式 会 社 （ 投 信 口 ）      | 27,400    | 2.11    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）          | 22,900    | 1.77    |
| 丸 谷 和 徳                            | 18,000    | 1.39    |

(注) 自己株式は所有していません。

### 3. 会社役員の状況

#### (1) 取締役及び監査役の状況（平成28年9月30日現在）

| 地 位       | 氏 名       | 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                   |
|-----------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役 | 新 居 佳 英   |                                                                                                                           |
| 取 締 役     | 岡 利 幸     | TalentBaseプロジェクトリーダー                                                                                                      |
| 取 締 役     | 梅 村 芳 延   | ADMプロジェクトリーダー                                                                                                             |
| 取 締 役     | 戸 塚 隆 将   | 株式会社シーネクスト（現シーネクスト・パートナーズ株式会社）代表取締役                                                                                       |
| 常 勤 監 査 役 | 小 笹 留 美 子 |                                                                                                                           |
| 監 査 役     | 羽 根 正 哲   | 公認会計士<br>羽根櫻木会計事務所代表<br>MAASA STRATEGIC PARTNER株式会社代表取締役<br>Rapyuta Robotics株式会社取締役<br>株式会社アクションコーポレーション監査役<br>株式会社アピア監査役 |
| 監 査 役     | 雪 丸 真 吾   | 弁護士<br>慶應義塾大学大学院文学研究科講師                                                                                                   |

- (注) 1. 取締役戸塚隆将氏は、社外取締役であります。
2. 監査役小笹留美子氏、監査役羽根正哲氏及び監査役雪丸真吾氏は、社外監査役であります。
3. 監査役羽根正哲氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 監査役雪丸真吾氏は、弁護士の資格を有しており、会社法務に関する相当程度の知見を有しております。
5. 当社は、社外取締役及び各社外監査役を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
6. 当社と社外取締役及び各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が規定する最低責任限度額であります。

## (2) 取締役及び監査役の報酬等

| 区 分                  | 員 数       | 報 酬 等 の 額         |
|----------------------|-----------|-------------------|
| 取<br>(うち社 締 外 取 締 役) | 4名<br>(1) | 48,240千円<br>(900) |
| 監<br>(うち社 査 外 監 査 役) | 3<br>(3)  | 6,720<br>(6,720)  |
| 合<br>(うち社 外 役 員) 計   | 7<br>(4)  | 54,960<br>(7,620) |

- (注) 1. 取締役の報酬限度額は、平成26年12月27日開催の第11期定時株主総会決議に基づき、年額66,000千円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と定めております。
2. 監査役の報酬限度額は、平成26年12月27日開催の第11期定時株主総会決議に基づき、年額10,000千円以内と定めております。

## (3) 社外役員に関する事項

- ① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係
- ・ 取締役戸塚隆将氏は、株式会社シーネクスト（現シーネクスト・パートナーズ株式会社）の代表取締役であります。当社と兼職先との間には特別の利害関係はありません。
  - ・ 監査役羽根正哲氏は、羽根櫻木会計事務所代表、MAASA STRATEGIC PARTNER株式会社代表取締役、Rapyuta Robotics株式会社取締役、株式会社アクションコーポレーション監査役及び株式会社アピア監査役であります。当社と兼職先との間には特別の利害関係はありません。
  - ・ 監査役雪丸真吾氏は、慶應義塾大学大学院文学研究科講師であります。当社と兼職先との間には特別の利害関係はありません。

② 当事業年度における主な活動状況

| 地 位   | 氏 名     | 主 な 活 動 状 況 等                                                                                                                                          |
|-------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取 締 役 | 戸 塚 隆 将 | 平成27年12月25日の就任以降、当事業年度に開催された取締役会15回のうち15回に出席いたしました。主に、長年にわたる企業経営の豊富な経験と実績を生かし、経営から独立した客観的・中立的な立場から、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。                |
| 常勤監査役 | 小 笹 留美子 | 当事業年度に開催された取締役会19回のうち19回、監査役会14回のうち14回に出席いたしました。過去の経験や実績に基づく見地から、議案審議等に必要な発言を適宜行っております。                                                                |
| 監 査 役 | 羽 根 正 哲 | 当事業年度に開催された取締役会19回のうち19回、監査役会14回のうち14回に出席いたしました。公認会計士としての専門的見地から、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、当社の経理システム並びに内部監査について適宜、必要な発言を行っております。 |
| 監 査 役 | 雪 丸 真 吾 | 当事業年度に開催された取締役会19回のうち17回、監査役会14回のうち13回に出席いたしました。弁護士としての専門的見地から、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、監査結果についての意見交換等、専門的見地から適宜、必要な発言を行っております。 |

## 4. 会計監査人の状況

(1) 名称 有限責任監査法人 トーマツ

### (2) 報酬等の額

|                                | 報 酬 等 の 額 |
|--------------------------------|-----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額            | 12,000千円  |
| 当社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 13,000千円  |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行った上で、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

### (3) 非監査業務の内容

当社は、有限責任監査法人 トーマツに対して、公認会計士法第2条第1項以外の業務であるコンフォートレターに係る作成業務についての対価を支払っております。

### (4) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

### (5) 責任限定契約の内容の概要

当社は、有限責任監査法人 トーマツとの間で責任限定契約を締結しておりません。

## 5. 会社の支配に関する基本方針

当社は、財務及び事業の方針の決定を支配する者は、安定的な成長を目指し、企業価値の極大化・株主共同の利益の増強に経営資源の集中を図るべきと考えております。

現時点では特別な買収防衛策は導入しておりませんが、今後も引き続き社会情勢等の変化を注視しつつ弾力的な検討を行ってまいります。

## 6. 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、将来の事業展開に即応できる財務体質の強化を重要課題として位置付けております。現在は成長過程にあると考えていることから、経営基盤の安定化を図るために内部留保を充実させ、新規事業の早期展開、事業拡大及び事業効率化のために投資を行い、企業価値向上を図ることが、株主に対する最大の利益還元につながると考えております。

将来的には、各事業年度における経営成績を勘案しながら株主への利益還元を検討していく方針ですが、現時点において当面の配当実施は未定であります。

# 貸 借 対 照 表

(平成28年9月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額       | 科 目             | 金 額       |
|-----------------|-----------|-----------------|-----------|
| ( 資 産 の 部 )     |           | ( 負 債 の 部 )     |           |
| 流 動 資 産         | 1,356,585 | 流 動 負 債         | 255,699   |
| 現 金 及 び 預 金     | 1,263,783 | 買 掛 金           | 1,902     |
| 売 掛 金           | 75,192    | 未 払 金           | 88,926    |
| 貯 蔵 品           | 540       | 未 払 費 用         | 3,251     |
| 前 払 費 用         | 3,363     | 未 払 法 人 税 等     | 119,553   |
| 繰 延 税 金 資 産     | 9,039     | 未 払 消 費 税 等     | 37,471    |
| そ の 他           | 6,299     | 売 上 返 金 引 当 金   | 394       |
| 貸 倒 引 当 金       | △1,632    | そ の 他           | 4,199     |
| 固 定 資 産         | 52,474    | 負 債 合 計         | 255,699   |
| 有 形 固 定 資 産     | 1,508     | ( 純 資 産 の 部 )   |           |
| 建 物             | 5,097     | 株 主 資 本         | 1,153,337 |
| 工 具、器 具 及 び 備 品 | 550       | 資 本 金           | 402,142   |
| 減 価 償 却 累 計 額   | △4,139    | 資 本 剰 余 金       | 388,142   |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 50,965    | 資 本 準 備 金       | 388,142   |
| 繰 延 税 金 資 産     | 12,660    | 利 益 剰 余 金       | 363,052   |
| そ の 他           | 38,305    | そ の 他 利 益 剰 余 金 | 363,052   |
| 資 産 合 計         | 1,409,060 | 繰 越 利 益 剰 余 金   | 363,052   |
|                 |           | 新 株 予 約 権       | 24        |
|                 |           | 純 資 産 合 計       | 1,153,361 |
|                 |           | 負 債 純 資 産 合 計   | 1,409,060 |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

(自 平成27年10月 1 日)  
(至 平成28年 9 月30日)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額     |           |
|--------------|---------|-----------|
| 売上高          |         | 1,312,624 |
| 売上原価         |         | 22,845    |
| 売上総利益        |         | 1,289,779 |
| 販売費及び一般管理費   |         | 899,749   |
| 営業利益         |         | 390,029   |
| 営業外収益        |         |           |
| 受取利息         | 36      | 36        |
| 営業外費用        |         |           |
| 株式公開費用       | 13,937  | 13,937    |
| 経常利益         |         | 376,128   |
| 特別損失         |         |           |
| 減損損失         | 8,375   | 8,375     |
| 税引前当期純利益     |         | 367,753   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 129,835 |           |
| 法人税等調整額      | △14,970 | 114,865   |
| 当期純利益        |         | 252,887   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成28年11月8日

株式会社アトラエ  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人 トーマツ

|                    |       |   |   |   |   |   |
|--------------------|-------|---|---|---|---|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 吉 | 村 | 孝 | 郎 | ㊞ |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 高 | 橋 | 篤 | 史 | ㊞ |

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社アトラエの平成27年10月1日から平成28年9月30日までの第13期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成27年10月1日から平成28年9月30日までの第13期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、当事業年度の監査の方針、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、監査計画等に従い、取締役、内部監査人その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。
  - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表及びその附属明細書）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成28年11月15日

株 式 会 社 ア ト ラ エ 監 査 役 会

常勤社外監査役 小 笹 留美子 ㊞

社 外 監 査 役 羽 根 正 哲 ㊞

社 外 監 査 役 雪 丸 真 吾 ㊞

以 上

メ モ

Handwriting practice lines for the character 'メ' (Me).

The page contains 18 horizontal dashed lines for writing practice.

|       |     |                                                                           |
|-------|-----|---------------------------------------------------------------------------|
| 平成15年 | 10月 | 東京都目黒区中目黒において資本金10,000千円で株式会社ユビキタスコミュニケーションズを設立。                          |
|       | 11月 | 本社を東京都渋谷区神宮前に移転。                                                          |
| 平成17年 | 4月  | 商号を株式会社I&Gパートナーズに変更。                                                      |
|       | 5月  | 本社を東京都中央区銀座に移転。                                                           |
| 平成18年 | 2月  | 本社を東京都港区虎ノ門に移転。                                                           |
|       | 7月  | 成功報酬型求人メディア「green」のサービス提供を開始。                                             |
| 平成19年 | 2月  | 「green」のウェブサイト进行全面リニューアル。                                                 |
| 平成20年 | 1月  | 「green」モバイルサイトの提供を開始。                                                     |
| 平成22年 | 10月 | 本社を東京都港区南麻布に移転。                                                           |
| 平成23年 | 9月  | 「green」のウェブサイトの全面リニューアルに伴い、サービス名称を「Green」に変更。                             |
| 平成24年 | 12月 | ソーシャルリクルーティングサービス「JobShare」のサービス提供を開始。                                    |
| 平成25年 | 4月  | 「JobShare」のウェブサイトにおいて全雇用形態の求人掲載を開始。                                       |
| 平成26年 | 7月  | 「JobShare」のウェブサイトを全面リニューアル。<br>商号を株式会社アトラエに変更。本社を東京都港区三田に移転。              |
|       | 3月  | 「JobShare」のウェブサイトを全面リニューアルし、<br>タレントマイニングサービス「TalentBase」として新たにサービス提供を開始。 |
| 平成27年 | 12月 | 完全審査制AIビジネスマッチングアプリ「yenta」のクローズドベータ版をリリース。                                |
|       | 1月  | 「yenta」のサービス提供を開始。                                                        |
|       | 6月  | 東京証券取引所マザーズ市場に上場。                                                         |
| 平成28年 | 9月  | 組織改善プラットフォーム「wevox」の立ち上げを意思決定。                                            |

## 事業概要

---



当社は、「世界中の人々を魅了する会社を創る」をビジョンに掲げ、ビッグデータ解析をはじめとしたテクノロジーを駆使することでHR領域（Human Resources＝企業の人的資源）に変革を起こし、従来の人材サービスでは提供し得なかった本質的な価値を提供するべく事業活動を行っております。

インターネット上にて、転職を希望する求職者と求人企業のマッチングを実現する求人メディアGreenの運営を行うほか、並行して、長期的に成長し続ける企業であるために積極的に新規事業の展開を行っています。現状では、TalentBase、yenta、及びwevoxを立ち上げております。

## サービス紹介

Green



Greenはビッグデータ解析等のテクノロジーを駆使することにより求職者と求人企業の最適なマッチングを実現するプラットフォームです。業界に先駆けて、成功報酬型の料金体系を導入しております。IT・Web業界の数多くの著名企業にご利用いただいております。

TalentBaseはビジネスパーソンのプロフィールデータやソーシャルメディア上のアクションデータ等を保有、解析するデータベースです。転職の意向が顕在化していない転職潜在層への採用アプローチを可能としております。

スマートフォンアプリyentaはこのデータベースを活用し、完全審査制の下、ビジネスパーソン同士の出会いの機会を提供しております。

TalentBase × yenta



wevox



wevoxは社員のエンゲージメントや組織の現状を、本サービス上で提供している独自のサーベイを用いて定量的かつ多角的に把握し、それを基に組織を改善していくためのWebサービスです。平成27年12月から労働者数50名以上の全事業者に義務化されたストレスチェックも本サービスにて実施・対応することを可能としております。

## 第13期 定時株主総会 会場ご案内図

### 会 場

#### グランド ハイアット 東京 2階「レジデンスアニス」

東京都港区六本木六丁目10番 3号 ☎03-4333-1234

### 交 通

#### 東京メトロ 日比谷線六本木駅（1 C番出口）より徒歩6分

- 1 C番出口より駅直結コンコースを通り、メトロハット内の長いエスカレーターを上がってください。
- 森タワーの右側にお進みください。

#### 都営地下鉄 大江戸線六本木駅（3番出口）より徒歩8分

- 3番出口より地上に出て六本木通りを「六本木ヒルズ」方面へお進みください。（約300m）
- メトロハット脇の階段・エスカレーターを上がり、森タワーの右側にお進みください。



※駐車場の用意はいたしておりませんので、お車での来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

※株主総会にご出席の株主さまへのお土産はございません。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

### 会 社 説 明 会 開 催 の ご 案 内

定時株主総会終了後、引き続き株主総会会場におきまして、株主のみなさまに当社へのご理解をより深めていただくため、「会社説明会」を開催いたします。お時間の許す株主さまには定時株主総会とあわせてご参加賜りますようお願い申し上げます。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。